

●建設上手くんα ProⅡ Version 10.203

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 登録・入力

➤ 仕訳入力

- ・通常入力で、[F4 入力設定] の伝票番号が“なし”になっている場合、出納帳入力で日付欄からの Enter キーで、伝票番号にカーソルが止まらないように対応しました。
- ・出納帳入力でも BackTab (Shift+Tab) が機能するように対応しました。
- ・出納帳入力・伝票入力の摘要欄で、F2 を押したときに、先頭文字にカーソルがセットされるように、F2 を“前項目”から“先頭文字”に変更しました。
- ・仕訳入力で同一日付に複数仕訳を入力し、[F8 仕訳検索] の表示順を“日付順”に変更し検索を行い、検索画面の [F5 印刷] を押し出力すると、仕訳番号が順不動に出力されていたり、出力されない仕訳があったのを修正しました。
- ・仕訳入力で [Ins 仕訳挿入] で仕訳を挿入し、[F8 仕訳検索] で検索を行い、検索画面の [F5 印刷] を押し出力すると、出力されない仕訳があったり、途中から同じ仕訳が何行も表示していたのを修正しました。  
※表示順は“番号順”、“日付順”どちらでも起きていました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“財務処理 d b (VERSION:10.203) の変更点”を参照してください。

⚠ 注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

# 財務処理 d b (VERSION:10.203) の変更点

## 改 良

### I. 登録・入力

#### 1) 仕訳入力

- ・通常入力で、[F4 入力設定] の伝票番号が“なし”になっている場合、出納帳入力で日付欄からの Enter キーで、伝票番号にカーソルが止まらないように対応しました。
- ・出納帳入力でも BackTab (Shift+Tab) が機能するように対応しました。
- ・出納帳入力・伝票入力の摘要欄で、F2 を押したときに、先頭文字にカーソルがセットされるように、F2 を“前項目”から“先頭文字”に変更しました。

#### 2) 科目設定・残高登録

- ・「科目残高登録」、「枝番残高登録」、で、借方・貸方金額に残高を入力して Tab キーを押したときに、金額が保存されるように改良しました。

### II. 表形式 (Pro II のみ)

#### 1) 表形式振替伝票データ取込

- ・下記の伝票種別を「振替伝票」として取り込む機能を追加しました。

<input checked="" type="checkbox"/> 伝票種別を「振替伝票」として取り込む
<input checked="" type="checkbox"/> 伝票番号欄が未入力または*のデータに対して自動付番する
付番開始番号 <input type="text" value="4"/>

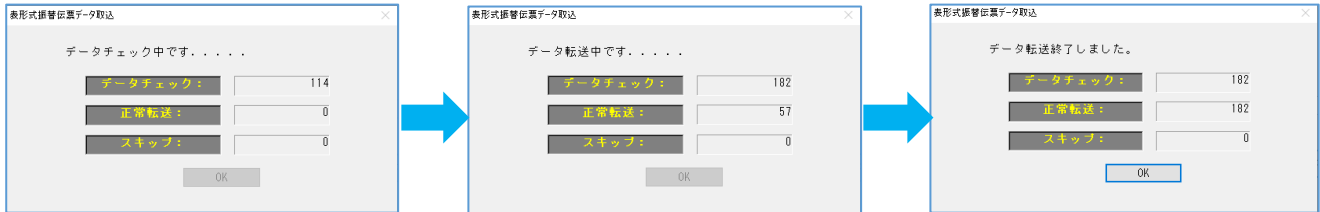
#### ●操作について

- ・「伝票種別を「振替伝票」として取り込む」にチェックを付けた場合、データ取込後『仕訳入力』業務の [F4 入力設定] から伝票形式入力タイプを表示させた場合に“振”が表示され、[F8 仕訳検索] の伝票種別で「振替伝票」にチェックを付けた場合の検索結果にあがるようになります。
- ・「伝票番号が未入力または\*のデータに対して自動付番する」にチェックを付けた場合、取り込んだ CSV の伝票番号欄が“未入力”または“\*”のデータに対して、付番開始番号にセットされた番号から伝票ごとにカウントアップして付番します。
- ・「付番開始番号」は、最大 7 桁まで入力可能です (0~9999999)。  
財務マスターに入力されている全ての仕訳から一番大きい伝票番号に“+ 1”した番号を表示します。  
データ取込終了時は、次に付番する伝票番号を付番開始番号に表示します。
- ・付番する番号が 9999999 を超えた場合、伝票番号は空白で取り込みます。  
9999999 を超える自動付番はできません。  
財務マスターに 9999999 のデータが存在すると、付番開始番号欄は空白になり、付番開始番号欄の下に下記メッセージを表示します。

<input checked="" type="checkbox"/> 伝票種別を「振替伝票」として取り込む
<input checked="" type="checkbox"/> 伝票番号欄が未入力または*のデータに対して自動付番する
付番開始番号 <input type="text"/>
最大伝票番号9999999のデータが存在します。9999999を超える番号は入力できません。

- ・「伝票番号が未入力または\*のデータに対して自動付番する」にチェックが付いていて付番開始番号が空白の場合は『付番開始番号を入力してください。』のメッセージを表示します。  
また、伝票番号が不要の場合は、「伝票番号が未入力または\*のデータに対して自動付番する」のチェックを外してデータ取込を行ってください。

- ・チェックボックスの設定は会社単位で保存します。
- ・「伝票種別を「振替伝票」として取り込む」がチェックが付いている場合は、伝票ごとの貸借金額チェックなど、全データのチェックが終わってから転送を開始します。  
データ転送時のダイアログでは「データチェック」という項目を設けてチェック件数をカウントした後、正常転送・スキップに仕訳数を表示します。  
※チェックが付いていない場合は、データのチェックと転送を同時に行うため「データチェック」という項目は表示しません。



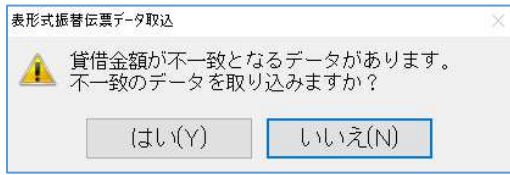
### ● CSV データについて

- ・伝票番号が未入力の仕訳に対して伝票の区切りをつけるため、CSV の伝票番号欄の仕様を以下の通りに変更しました

	A	B	C	D	EF	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AAIA	AAI
1	法人																											
2	db振替伝票																											
3	41308 表形式 振替伝票																											
4	自 2年 1月 至 2年12月 月分																											
5	日付	決修	伝票番号	借方金額	借借方コード*	借方名称	貸借方コード*	貸方名称	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額	貸借方金額
6	2020/1/1			1000		101 現金		511 売上高 1	1000																			
7	2020/1/1			1000		101 現金		511 売上高 1	1000																			
8	2020/1/1		*	1000		101 現金		511 売上高 1	1000																			
9	2020/1/1			1000		101 現金		511 売上高 1	1000																			
10	2020/1/1			1000		101 現金		511 売上高 1	1000																			
11	2020/1/1		1	1000		101 現金		511 売上高 1	1000																			
12	2020/1/1		1	1000		101 現金		511 売上高 1	1000																			
13	2020/1/1		*	1000		101 現金		511 売上高 1	1000																			
14	2020/1/1			1000		101 現金		511 売上高 1	1000																			
15	2020/1/2			1000		101 現金		511 売上高 1	1000																			

- ・伝票番号が空白の行は、日付が異なる、伝票番号が入力されている、CSV データの各伝票の最終行にあたる行の伝票番号欄に「\*」が入力されていれば伝票の区切として判断します。
- ・半角「\*」、全角「\*」とも伝票の区切として扱います。

- ・上記例の場合、行番号 6～8、9～10、11～12、13、14、15 で伝票が分かれます。
- ・1 伝票 100 行を超える場合も、次伝票に継続してデータ取込を行います。
- ・データ取込実行時に「貸借金額が不一致」のデータが存在した場合、下記の確認メッセージを表示します。



- ・「はい」を選択した場合は、貸借金額不一致の伝票も取り込みます。
- ・「いいえ」を選択した場合は、貸借金額が不一致の伝票は取り込まず、エラーリストに出力します。

◆データ取込実行時に「日付エラー」のデータが存在した場合、下記のように扱います。

日付	伝票番号	借方金額	借方コード	借方名称	貸方コード	貸方名称	貸方金額	取込結果
4.31		100,000	101	現金	511	売上高1	50,000	日付エラー
4.1					511	売上高1	30,000	貸借エラー
4.1					511	売上高1	20,000	貸借エラー

- ・1 行目と 2 行目以降で日付が異なるため、2 つのグループに分けて取込のチェックを行います。上記 3 行をひとつのグループとして判断することができないため、2 行目以降は貸借エラーとなります。

◆データ取込実行時に「科目未登録エラー」のデータが存在した場合、下記のように扱います。

行番号	区切りの要因	伝票番号 (付番開始番号 = 101 とした場合)
6～8	行番号 8 に [*] が入力されている。	101
9～10	次行 (行番号 11) に伝票番号が入力されている。	102
11～12	行番号 11～12 に同一の伝票番号が入力されている。	1
13	行番号 13 に [*] が入力されている。	103
14	次行 (行番号 15) で日付が異なる。	104
15	行番号 15 の日付が異なる。	105

日付	伝票番号	借方金額	借方コード	借方名称	貸方コード	貸方名称	貸方金額	取込結果
4.1		100,000	101	現金	511	売上高1	50,000	取り込まない
4.1					599		30,000	科目未登録エラー
4.1					511	売上高1	20,000	取り込まない

- ・3 行とも同じ日付なので、1 つのグループとして取込のチェックを行います。上記 3 行で伝票として成立しないため、すべて取り込まないようにしています。

# 修正

## I. 登録・入力

### 1) 仕訳入力

- ・解像度 1920×1080 で、マルチウィンドウの重ねて表示のときに、消費税欄をクリックすると、税区分欄が切れてしまう場合があったのを修正しました。
- ・ [F8 仕訳検索] → [検索開始] → [F9 合計] の諸口合計について。  
諸口/諸口の仕訳を入力している場合、貸方諸口の残高が集計されていなかったのを修正しました。
- ・仕訳入力の修正行にカーソルをセットした状態で仕訳検索に進み、再度仕訳入力に戻ると、新規入力行にカーソルがセットされていたのを修正しました。
- ・仕訳入力で同一日付に複数仕訳を入力し、[F8 仕訳検索] の表示順を“日付順”に変更し検索を行い、検索画面の [F5 印刷] を押し出力すると、仕訳番号が順不動に出力されていたり、出力されない仕訳があったのを修正しました。

《検索画面》

番号	伝	日付	伝票	借方	貸方	金額	税額	消費税	変
1		01.01		現金	有価証券	10,000	*0	非課	
2		01.01		諸口	有価証券	10,000	*750	非課	
3		01.01		諸口	有価証券売却益	5,000	0	不課	
4		01.01		現金	諸口	15,000			

《プレビュー》

令和 2年 5月 13日 15時28分  
A°-♪° 1

チェックリスト

[00051303] チェックリスト

番号	日付	伝票	借方科目	貸方科目	金額	消費税	摘要	対価
1	1.1	現	現金	有価証券	10,000	0		0
					10,000	0		0
					15,000	0		0
					25,000	0		0
通常	合計	借方 ( 今回出力分 )			貸方 ( 今回出力分 )	差額 ( 今回出力分 )		
諸口	合計	10,000 ( 10,000 )			10,000 ( 10,000 )	0 ( 0 )		
貸借	合計	15,000 ( 0 )			15,000 ( 0 )	0 ( 0 )		
仕訳	件数	25,000 ( 10,000 )			25,000 ( 10,000 )	0 ( 0 )		
		4件 ( 1件 )						

- ・仕訳入力で [Ins 仕訳挿入] で仕訳を挿入し、[F8 仕訳検索] で検索を行い、検索画面の [F5 印刷] を押し出力すると、出力されない仕訳があったり、途中から同じ仕訳が何行も表示していたのを修正しました。  
※表示順は“番号順”、“日付順”どちらでも起きていました。

《検索画面》

番号	伝	日付	伝票	借方	貸方	金額	税額	消費税
1		01.01		現金	売上高 1	1		0内10
2		01.01		現金	売上高 1	2		0内10
7		01.01		現金	売上高 1	7		0内10
3		01.01		現金	売上高 1	3		0内10
4		01.01		現金	売上高 1	4		0内10
5		01.01		現金	売上高 1	5		0内10
6		01.01		現金	売上高 1	6		0内10

《プレビュー》

令和 2年 5月 14日 10時01分  
A°-♪° 1

チェックリスト

[00051401] チェックリスト 二件目

番号	日付	伝票	借方科目	貸方科目	金額	消費税	摘要	対価
1	1.1	現	現金	売上高 1	1	0		0
2		現	現金	売上高 1	2	0		0
7		現	現金	売上高 1	7	0		0
					10	0		0
					20	0		0
					28	0		0
通常	合計	借方 ( 今回出力分 )			貸方 ( 今回出力分 )	差額 ( 今回出力分 )		
諸口	合計	28 ( 10 )			28 ( 10 )	0 ( 0 )		
貸借	合計	0 ( 0 )			0 ( 0 )	0 ( 0 )		
仕訳	件数	28 ( 10 )			28 ( 10 )	0 ( 0 )		
		7件 ( 3件 )						

## 2) 科目設定・残高登録

- ・下記条件のときに合計名称一覧を出力すると、科目が表示順に出力されていなかったのを修正しました。

### ◆条件

- ・オプションの「不使用科目を印刷する」のチェックを外す。
- ・科目名称変更の使用欄の小分類は○、かつそれに属する明細科目をすべて×にする。
- ・出力時の「明細科目を出力しますか？」のメッセージで「はい」を選択する。

## 3) 残高問い合わせ

- ・諸口をはさんで有価証券売却仕訳を入力したときに、日指定で[F11 発生残高]をみると対価金額の5%分が金額に足しこまれていたのを修正しました。
- ・次の手順を行うと動作停止していたのを修正しました。

- ①仕訳入力から、残高問い合わせに移行し、税区分を既定以外に変更
- ②仕訳入力画面に戻し仕訳を追加し、再度、残高問合せ画面に切替
- ③[F11 発生変更]を押し、該当月をダブルクリック

## 4) 日計累計残高試算表

- ・日計累計残高試算表を開いたまま、仕訳入力で仕訳を変更し、日計累計残高試算表に戻ってきて月のコントロールを操作すると、不正終了していたのを修正しました。

## 5) 新規会社登録・修正・削除

- ・法人事業から個人事業に切り替えた場合に「マスターの更新に失敗しました・・・」とメッセージが表示される環境があったのを修正しました。

## II. 出力 (DX・Pro IIのみ)

---

### 1) 総勘定元帳

- ・[F7 出力書式]で「摘要(出力欄超過分)」に設定している場合、摘要の文字数等によって2行に渡って同じ摘要が出力される場合があったのを修正しました。

## III. 表形式 (Pro IIのみ)

---

### 1) 全般

- ・マルチウィンドウ(並べて表示の右側画面)で、チェックボックスの並びが崩れていたのを修正しました。

以上